ツチー教育賞
ペスタロッチー教育賞受賞者紹介

俳優の佐野浅夫氏

佐野浅夫氏は、1925（大正14）年、横浜市生まれ。1943年、日本大学芸術学部在学中に劇団文芸劇場に入団、以後、劇団に参加。1950年劇団民主主義演劇同盟を経て、1954（昭和29）年劇団民主主義「アンネの日記」「セールスマンの死」一方、映画、テレビドラマでも幅広く活躍し、演し高い評価を得るとともに、3的テレビ時代劇「水戸黄門」の人気を博した。

今回のペスタロッチー教育賞は、一つの顔としての佐野氏のもう一つの顔としての活動に対するものである。佐野氏は、1954（昭和29）年の「お話の語り手」として、NHKラジオ番組「お話と火曜日まで47年間以上、通算たお話の語り手として、今日までの放送回数は4,000回以上、通算おける氏の活動は、ラジオに出演し、放送回数も3,000話に及んでいる。テレビや子ども具もなかった時代から子どもたちに向けてれる現代まで、多くの絵本、紙芝居、音声のみによって子ども心にワクワクやドキドキ、安らぎや夢を与え続けてきた活動が高く評価される。

また、氏は創作童話の執筆にも「のお話」（1、話でてこいのおじさん」で子どもたち書き入れ創作童話とする保育現場の講演活動を積極的にすすめ、さらに「お話かせを積極的にすすめ、さらに「お話クルに話題をよんだ。テーマとした「訪や「お話で育つ心」など優の仕事で続けるとともに、俳